



## NEWS RELEASE

報道資料

2007年11月15日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 2007年度通年および第4四半期の業績を発表  
年間純売上高は過去最高を記録

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 11 月 14 日 (現地時間)、2007 年度通年および第 4 四半期 (期末 : 2007 年 10 月 28 日) の業績を発表しました。2007 年度通年の純売上高は 97 億 3,000 万ドルで過去最高となり、2006 年度 (以下前年度) の 91 億 7,000 万ドルを 6% 上回りました。純利益は 17 億 1,000 万ドル (希薄化後一株当たり 1.20 ドル) で、前年度の 15 億 2,000 万ドル (希薄化後一株当たり 0.97 ドル) を上回りました。新規受注高は 96 億 8,000 万ドルで、前年度の 98 億 9,000 万ドルを 2% 下回りました。

アプライド マテリアルズの社長兼 CEO マイケル・スプリンターは次のように述べています。「2007 年度は純売上高が過去最高だったことに加えて増益も達成し、当社史上最も好調な年度の 1 つに数えられます。2007 年度はフラッシュメモリ分野でポジションを強化し、薄膜太陽電池事業に参入して SunFab ラインへの力強い需要を獲得したほか、事業活動を強化して一株当たり利益を伸ばしました。こうした成果を通じて将来への地歩を固めています」

「第 4 四半期は半導体が軟調気味でディスプレイ分野の環境も厳しかったものの、財務目標を達成することができました。HCT 社を買収して精密ソーラーウェーハ製造技術を取得し、フラットパネルディスプレイアレイ用の PVD 製品を投入するなど、新しい機会への投資も行いました」とスプリンターは話しています。

2007 年度第 4 四半期 (以下当期) の純売上高は 23 億 7,000 万ドルで、2006 年度第 4 四半期 (以下前年同期) の 25 億 2,000 万ドルを下回り、2007 年度第 3 四半期 (以下前期) の 25 億 6,000 万ドルを下回りました。当期の売上高総利益率は 45.5% で、前年同期の 47.1% を下回り、前期の 47.5% を下回りました。総利益は 4 億 2,200 万ドル (一株当たり 0.30 ドル)、これに対し前年同期は 4 億 4,900 万ドル (一株当たり 0.30 ドル)、前期は 4 億 7,400 万ドル (一株当たり 0.34 ドル) で、当期はこれを下回りました。

当期の新規受注高は 22 億 1,000 万ドルで、前年同期の 26 億 9,000 万ドルを 18% 下回り、前期の 22 億 8,000 万ドルを 3% 下回りました。当期新規受注高の地域別比率は、台湾 27%、

日本 18%、東南アジアと中国 18%、韓国 14%、北米 13%、ヨーロッパ 10%となっています。当期末受注残高は 36 億 5,000 万ドルで、前期末の 34 億 3,000 万ドルを上回りました。

2007 年度通年の非 GAAP ベース純利益は 19 億ドル（一株当たり 1.33 ドル）で、前年度の 18 億ドル（一株当たり 1.15 ドル）を上回りました。2007 年度第 4 四半期の非 GAAP ベース純利益 4 億 7,200 万ドル（一株当たり 0.34 ドル）で、これに対し前年同期は 4 億 8,200 万ドル（一株当たり 0.33 ドル）、前期は 5 億 1,800 万ドル（一株当たり 0.37 ドル）で、当期はこれを下回りました。非 GAAP ベースの調整については以下に説明を加え、さらに添付の「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」にも詳細を示しました。

2007 年度通年の報告セグメント別業績は以下のとおりです。

(単位：100万)	新規受注高	純売上高	営業利益 (損失)
シリコン .....	\$ 6,651	\$ 6,512	\$ 2,379
ファブソリューション .....	\$ 2,374	\$ 2,196	\$ 572
ディスプレイ .....	\$ 407	\$ 862	\$ 217
関連テクノロジー .....	\$ 245	\$ 165	\$ (89)

2007 年度第 4 四半期の報告セグメント別業績は以下のとおりです。

(単位：100万)	新規受注高	純売上高	営業利益 (損失)
シリコン .....	\$ 1,343	\$ 1,511	\$ 550
ファブソリューション .....	\$ 602	\$ 572	\$ 148
ディスプレイ .....	\$ 163	\$ 222	\$ 58
関連テクノロジー .....	\$ 98	\$ 62	\$ (30)

添付の「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」に詳細を示した非 GAAP ベースの純利益ならびに非 GAAP ベースの EPS（一株当たり利益）では、以下に関連する費用を除外しています。(i) 株式ベースの報酬、(ii) 資産減損とリストラクチャリング活動、(iii) ビームラインイオン注入装置の開発中止、(iv) 買収に関連した一部の項目（無形資産の償却と減損、売却した製品に関する棚卸資産公正価値の調整、進行中の研究開発費用を含む）、(v) 所得税監査の結果ならびに税額控除の変更。当社の経営陣は、ビジネス目標と比較した営業成績や財務成績の評価ならびに計画立案に、非 GAAP ベースの純利益と非 GAAP ベースの EPS を用いています。これらの財務データは GAAP（一般会計原則）に沿ったものではなく、また他社の用いる非 GAAP ベースの会計報告手法とは異なる場合があります。こうしたデータは、投資家の皆様が経営陣と同じ視点で当社の事業を検討し、過去の会計期と当期の業績を比較する上で役立つと当社は考えています。この追加情報の提示をもって

GAAP に基づく純利益および EPS のデータを代替することは意図しておりません。

本プレスリリースには、当社の業績、戦略的ポジション、製品、成長機会、戦略的投資、テクノロジーリーダーシップ、業界の状況その他に関する将来の見通しが述べられています。こうした将来見通しを記述した文章には、「期待する」「確信する」「するかもしれない」「するはず」「する予定」「予測する」ないしこれに類した表現や、こうした記述の前提をなす仮定が含まれる場合があります。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①ナノ製造テクノロジー業界における需要の持続性と、ソーラー分野などの新興アプリケーションへの需要の広がり（グローバルな経済状況、事業支出および個人消費支出、エレクトロニクス製品および半導体への需要、国際情勢不安などの影響を受ける）、②顧客企業の生産設備ニーズ（最新技術を採用した設備を含む）と工場稼働率、③ナノ製造テクノロジー製品への資本支出のタイミング、速度、規模、持続性、④当社の報告セグメント間で対象市場の状況の違いによって生じる業績のばらつき、⑤当社が(i)広範な製品を開発・提供およびサポートし、既存市場を拡大ならびに新市場を開拓する能力、(ii)効果的なコスト管理を維持し、コスト構造を事業環境にタイムリーに適合させる能力、(iii)サプライチェーンを含めたリソースや生産能力を効果的に管理する能力、(iv)主要社員を勧誘し、意欲を高め、引き留める能力、⑥ソーラー事業などの新事業における生産計画とその実施に伴う困難、⑦グローバルな事業と効率の強化に向けた活動の成功と効果、⑧買収事業や合併事業の業績、⑨当社が証券取引委員会（SEC）に提出する書類（Form 10-K、Form 10-Q、Form 8-K 報告書を含む）に記載されているリスク、その他があります。将来見通しの記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：[http://www.appliedmaterials.com/news/index\\_6.html](http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html)（日本語）でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは 11 月 14 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー

コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)

ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>

---

APPLIED MATERIALS, INC.  
連結要約損益計算書

	3 ヶ月期末		12 ヶ月期末	
	2006 年 10 月 29 日	2007 年 10 月 28 日	2006 年 10 月 29 日	2007 年 10 月 28 日
(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)				
純売上高	\$2,518,293	\$2,367,044	\$9,167,014	\$9,734,856
売上原価	<u>1,332,169</u>	<u>1,290,139</u>	<u>4,875,212</u>	<u>5,242,413</u>
売上総利益	1,186,124	1,076,905	4,291,802	4,492,443
営業費用：				
研究開発費及び技術費	299,240	270,878	1,152,326	1,142,073
販売費	116,365	116,270	438,654	451,258
一般管理費	134,199	125,624	468,088	501,185
リストラクチャリング、資産減損	<u>1,490</u>	<u>3,039</u>	<u>212,113</u>	<u>26,421</u>
営業利益	634,830	561,094	2,020,621	2,371,506
税引前の持分法投資損失	2,849	12,162	2,849	29,371
支払利息	9,308	9,243	36,096	38,631
受取利息	<u>37,396</u>	<u>39,556</u>	<u>185,295</u>	<u>136,149</u>
税引前利益	660,069	579,245	2,166,971	2,439,653
法人所得税	<u>211,040</u>	<u>157,484</u>	<u>650,308</u>	<u>729,457</u>
純利益	<u>\$ 449,029</u>	<u>\$ 421,761</u>	<u>\$1,516,663</u>	<u>\$1,710,196</u>
一株当たり利益：				
基本	\$ 0.31	\$ 0.31	\$ 0.98	\$ 1.22
希薄化後	\$ 0.30	\$ 0.30	\$ 0.97	\$ 1.20
期中平均株式数：				
基本	1,469,975	1,381,871	1,551,339	1,406,685
希薄化後	1,482,132	1,403,687	1,565,072	1,427,002

APPLIED MATERIALS, INC.  
連結要約貸借対照表

(単位: 千ドル)	2006年 10月29日	2007年 10月28日
<b>資産の部</b>		
流動資産:		
現金及び現金同等物	\$ 861,463	\$ 1,202,722
短期投資	1,035,875	1,166,857
売掛金	2,026,199	2,049,427
棚卸資産	1,406,777	1,313,237
未収還付法人所得税	455,473	424,502
売却予定資産	37,211	-
その他流動資産	<u>258,021</u>	<u>448,879</u>
流動資産合計	6,081,019	6,605,624
長期投資	1,314,861	1,362,425
有形固定資産	2,753,883	2,782,204
減価償却費累計	<u>(1,729,589)</u>	<u>(1,730,962)</u>
有形固定資産純額	1,024,294	1,051,242
営業権	572,558	1,000,176
買収技術及びその他無形資産	201,066	373,178
持分法投資	144,431	115,060
繰延税金資産及びその他資産	<u>142,608</u>	<u>146,370</u>
資産合計	<u>\$ 9,480,837</u>	<u>\$10,654,075</u>
<b>負債及び資本の部</b>		
流動負債:		
一年以内返済長期債務	\$ 202,535	\$ 2,561
買掛金及び未払費用	2,023,651	2,213,313
未払法人所得税	<u>209,859</u>	<u>157,549</u>
流動負債合計	2,436,045	2,373,423
長期債務	204,708	202,281
その他負債	<u>188,684</u>	<u>256,962</u>
負債合計	<u>2,829,437</u>	<u>2,832,666</u>
株主持分:		
普通株式	13,917	13,857
資本準備金	3,678,202	4,658,832
利益剰余金	9,472,303	10,863,291
自己株式	(6,494,012)	(7,725,924)
その他の包括利益 (損失) 累計額	<u>(19,010)</u>	<u>11,353</u>
株主持分合計	<u>6,651,400</u>	<u>7,821,409</u>
負債及び資本合計	<u>\$ 9,480,837</u>	<u>\$10,654,075</u>

APPLIED MATERIALS, INC.  
GAAP と非 GAAP データの差異調整表

	3 ヶ月期末			12 ヶ月期末	
	2006 年 10 月 29 日	2007 年 7 月 29 日	2007 年 10 月 28 日	2006 年 10 月 29 日	2007 年 10 月 28 日
<i>(単位千ドル、一株当たりの部分はドル)</i>					
<b>非 GAAP ベースの純利益</b>					
報告上の純利益 (GAAP ベース)	\$ 449,029	\$ 473,515	\$ 421,761	\$ 1,516,663	\$ 1,710,196
株式ベース報酬の費用	55,553	47,485	30,889	216,269	161,196
リストラクチャリングと資産減損 <sup>1,2</sup>	1,490	1,616	3,039	212,113	26,421
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用 <sup>3</sup>	-	6,373	9,391	-	66,063
買収に関連した一部項目の影響 <sup>4</sup>	18,456	18,911	29,497	49,157	85,513
過去の申告所得税の監査結果及び 税控除の変更 <sup>5</sup>	(20,000)	(6,379)	-	(53,915)	(36,242)
非 GAAP 調整の税効果	<u>(22,268)</u>	<u>(23,137)</u>	<u>(22,691)</u>	<u>(142,712)</u>	<u>(108,501)</u>
非 GAAP ベースの純利益	<u>\$ 482,260</u>	<u>\$ 518,384</u>	<u>\$ 471,886</u>	<u>\$ 1,797,575</u>	<u>\$ 1,904,646</u>
<b>非 GAAP ベースの純利益 (希薄化後一株当たり)</b>					
報告上の希薄化後一株当たり利益 (GAAP ベース)	\$ 0.30	\$ 0.34	\$ 0.30	\$ 0.97	\$ 1.20
株式ベース報酬の費用	0.03	0.02	0.02	0.11	0.08
リストラクチャリングと資産減損	-	-	-	0.08	0.01
ビームラインイオン注入装置の 開発終了関連費用	-	-	-	-	0.03
買収に関連した一部項目の影響	0.01	0.01	0.01	0.02	0.04
過去の申告所得税の監査結果及び 税控除の変更	(0.01)	-	-	(0.03)	(0.03)
非 GAAP ベースの純利益 (希薄化後一株当たり)	\$ 0.33	\$ 0.37	\$ 0.34	\$ 1.15	\$ 1.33
一株当たり利益の算出に用いた 希薄化後株式数	1,482,132	1,407,264	1,403,687	1,565,072	1,427,002

<sup>1</sup> 2006 年 10 月 29 日に終了した 12 カ月間の業績には、資産減損およびリストラクチャリング費用 2 億 1,100 万ドルが含まれています。これは主として 2006 年度第 1 四半期に始まった設備引き揚げプログラムに関連するものです。2007 年 10 月 28 日に終了した 12 カ月間の業績には、韓国・天安とオレゴン州ヒルズボロおよび成田の施設売却に伴う調整分が含まれています。

<sup>2</sup> 2007 年 10 月 28 日に終了した 3 カ月間および 12 カ月間の業績には、それぞれビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したリストラクチャリング費用と資産減損費用が 300 万ドルおよび 3,000 万ドル含まれています。

<sup>3</sup> 2007 年 10 月 28 日に終了した 3 カ月間および 12 カ月間の業績には、それぞれビームラインイオン注入装置の開発終了に関連したその他の営業費用が 900 万ドルおよび 6,600 万ドル含まれています。

<sup>4</sup> 買収に起因する増分費用は、売却した製品に関する棚卸資産公正価値の調整額と、購入した無形資産の償却からなっています。2006 年 10 月 29 日に終了した 12 カ月間の業績には、2006 年度第 3 四半期に行ったアプライド フィルムズ コーポレーションの買収に関連する進行中の研究開発費用 1,400 万ドルが含まれています。2007 年 10 月 28 日に終了した 12 カ月間の業績には、2007 年度第 2 四半期に行ったブルックス オートメーション社のソフトウェア部門の買収に関連する進行中の研究開発費用 500 万ドルが含まれています。

<sup>5</sup> 2006 年 10 月 29 日に終了した 12 カ月間の業績には、2005 年度の所得税申告に基づく 3,400 万ドルの税還付が含まれています。2007 年 10 月 28 日に終了した 12 カ月間の業績には、それ以前の年の所得税申告の監査結果と税額控除の変更によって得られた 3,600 万ドルの税還付が含まれています。